

初めまして。弘前大学医学部 6年の堀野友里です。

この度三沢市立三沢病院内科で一か月間実習させていただきました。

弘前大学では 6年生の実習先を選択することができます。三沢病院の内科実習では実際に臨床に近い形で外来を経験できるということが魅力で選択させていただきました。地元が三沢に近かったこともあり、幼少期から三沢を身近に感じていたため、三沢での実習を本当に楽しみにしておりました。

実習では、外来患者さんの問診と診察を経験させていただきました。実際に患者さんの訴えを聞き、そこから何の疾患を疑うのか、その症状が起こる疾患の中で、緊急度の高い危険な病気は何かを考え、その疾患を除外するためには何を聞くべきなのか。常に頭をフル回転させて問診に臨んでいました。今まで私たちが勉強してきた、疾患から症状を思い浮かべるといった作業とは反対方向の作業だったため、慣れるまでは本当に難しかったです。空き時間には先生が貸してくださった参考書を何度も開いて聞くべきことを考えていました。毎日実習終わりには先生から今日の症例や診察についてフィードバックをもらい、その日に何ができたのか、何が自分に足りないのかを示していただくことで、日に日に自分の成長を感じることができました。

病棟実習では、入院患者に毎日会いに行き、一日前と比較して悪くなっているところがないか、悪いところがあれば何の検査を追加すればいいのかを先生と一緒に考えていきました。私が疑問に思ったことを尋ねると、答えではなく何を調べればいいのか、何の知識が私に不足しているのかを教えてください、それについて自分で調べることで確実に自分の知識を増やしていくことができました。

三沢病院のスタッフの方々には温かく学生を迎え入れてくださり、本当に感謝しています。すれ違おうと必ず挨拶をしてくれて、時間がある時には話をしてくださりました。私が外来を担当すると先生の外来よりも倍時間がかかってしまいましたが、それでも私の外来を温かく見守ってくださり、落ち着いて外来に集中することができました。本当にありがとうございました。

また、他科の先生方も声をかけてくださり、病院全体の温かい雰囲気を、身をもって感じるすることができました。研修医の先生方も、回っている科が違いましたが、病院についてたくさんのお話を教えてくださいました。本当に感謝しております。実習初日、実習を担当してくださった星先生からのお話のなかで、外来は仮説演繹法であるというお話をさせていただきました。初めは何となくしか理解できませんでしたが、この一か月間で先生のお話をしっかりと自分のものにできたような気がしています。ご指導いただいた星先生、他科の先生方、研修医の先生方、医療スタッフの方々、診察させていただいた患者様、本当にありがとうございました。今回得たものを活かして、これからの成長に繋げていきたいと思っております。1か月間ありがとうございました。



2022.6.13～2022.7.8